

## 快適・安心への取り組み

### 女性専用車両の導入

当社では、平日朝ラッシュ時のK特急と特急(上り10本、下り16本)の京都側1車両を女性専用車両としています。



女性専用車両の表示

### 待合室

冷暖房付きの待合室の設置を進めています。平成19年3月31日現在、22駅45カ所に設置しています。平成18年度には萱島駅ホーム京都方の待合室のリニューアルを行いました。



萱島駅待合室

### マナーポスター

お客さまに気持ち良く電車・駅をご利用いただけるよう、マナーポスターを通じて乗車マナーの大切さを呼びかけ、ご理解とご協力をお願いしています。なお、取り上げるテーマは、お客さまから寄せられるご意見などを参考に選定しています。

また、関西鉄道事業者15社局共同マナーポスターをはじめ、鉄道業界全体でのマナー向上活動にも積極的に取り組んでいます。



京阪マナーポスター

### PiTaPaサービス

ICカード乗車サービス「PiTaPa」を導入し、お客さまの利便向上に努めています。「PiTaPa」はpostpay ic for touch and payの略語で、「触れるだけで決済できる、後払いIC」を意味し、切符を買うことなく後払いで電車に乗ることができます。当社で発行している京阪マイレージPiTaPaカードを使って京阪線を利用すると、おけいはんポイントがたまる「京阪レイルウェイマイレージ」も導入しています。また、PiTaPaカードはショッピング(小額決済)にも利用することが出来ます。(一部店舗のみ)



PiTaPa対応自動改札機

### AEDの設置

当社線をご利用いただくお客さまの救命率向上、安心面の推進のためにAED(自動体外式除細動器)を設置しています。(設置駅:淀屋橋、京橋、守口市、寝屋川市、香里園、枚方市、樟葉、中書島、丹波橋、伏見稲荷、四条、三条、出町柳、宇治の14駅、平成19年3月31日現在)

また、単に機器を設置するだけではなく、AEDの正確な取扱いを行えるよう駅係員に「普通救命講習」を受講させています。

AEDとは、心臓の突然の停止(心室細動)の際に電気ショックを与え(電氣的除細動)、心臓の動きを戻すことを試みる医療機器です。



丹波橋駅

### 立体交差化事業

当社では、都市計画事業による連続立体化により、踏切道の立体化を積極的に進めています。近年では、平成11年11月に京阪本線(寝屋川市内)連続立体交差事業により寝屋川市駅付近の京阪本線を高架化しました。

現在は、京阪本線淀駅付近立体交差化事業を進めています。これは、京都市の都市計画事業として、京都競馬場の最寄り駅である淀駅を中心に京阪本線約1.5kmを高架化する事業で、平成22年度末の竣工をめざしています。高架化により、3つの踏切道を廃止し、利便性向上、安全確保とともに、競馬開催日の混雑を解消します。新駅は従来より、約280m京都方面に移設し、2面4線のホームを持つ高架駅に生まれ変わります。



工事中の高架線(京都競馬場より撮影)



新淀駅(イメージ図)